

令和2年度東京ヘリポート消火救難訓練

8月18日（火）及び19日（水）に「東京ヘリポート消火・救難訓練」を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年とは異なる形での実施となりました。

東京ヘリポート消火救難訓練

実施日時 <第1部>令和2年8月18日（火）10時00分～11時00分
13時30分～14時30分

<第2部>令和2年8月19日（水）13時30分～14時30分

場所 東京ヘリポート（管理事務所、消防車庫）

主催 東京港管理事務所

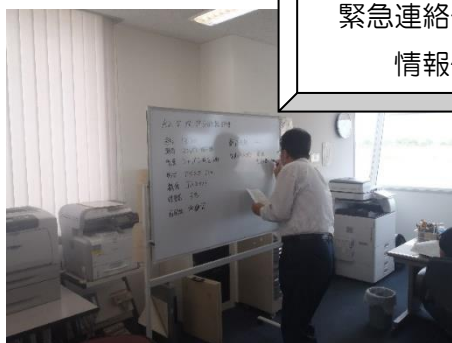
消防車両 1台（東京ヘリポート消防隊）

訓練概要 ヘリポート内コンパス修正場にて駐機作業中の機体から電気回路の故障により発煙、足を滑らせて機体から落下した負傷者3名を救出後、出火したとの想定のもと訓練を実施しました。

第1部では図上訓練として、想定した発生事案に基づき、どのような行動をしなければならないかを考え、図面上でシミュレーションを行いました。引き続き午後からは、情報伝達訓練として、緊急連絡体制に則って実際に電話をかける等の訓練を行いました。

第2部では、東京ヘリポート消防隊より、消防車の機能や救難備品等について説明を受け、負傷者の救出や消火手順の確認を行いました。

緊急連絡体制に基づく 情報伝達訓練



シナリオに沿う形での伝文読み上げ、電話による情報伝達を行いました。





予想以上に重く、持ち上げるのが
やっとでした。



防火服を着用させていただきました。これも本
当に重くて動きづらく、消防士の方の大変さが
身に染みました。



担架による救難訓練・消防車の機能確認

新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年のような機体を使用した実地訓練や消防車による放水訓練は中止となりました。そこで、どのような形なら実施できるか担当内で検討を重ねた結果、感染リスクのない情報伝達訓練は例年どおり行い、新たな取り組みとして消防車の機能確認を行うこととなりました。小規模ながらも、職員の防火意識を高める貴重な機会となりました。来年度は例年のような形で実施できるよう、準備を進めていきたいと思います。

訓練にご協力いただいた東京ヘリポート内の事業者の皆様、誠にありがとうございました。